

学校だより 11月号

令和5年11月1日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

URL

<https://koya-e-konosu.edumap.jp/>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です

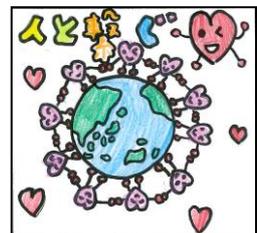
【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



言われてうれしい言葉は「ありがとう」

校長 棚澤 大輔

本校では、先月号でもお知らせしたとおり、10月2日から13日まで「思いやりキャンペーン」を実施しました。キャンペーンに先立って行った「思いやりキャンペーン集会」にて、今年の「キャンペーンマスコット」の発表や「言われてうれしい言葉アンケート」の結果発表を行うとともに、キャンペーン期間中には、各学年代表の思いやり大使が「休み時間の呼びかけ」や「昼の放送でのありがとうメッセージ」といった取組を行いました。



(低学年マスコット) (中学年マスコット) (高学年マスコット) (ハートメッセンジャー)

特に今回は、「昼の放送でのありがとうメッセージ」が大変心温まるものでしたので、いくつか紹介させていただきます。

「一緒に登校してくれてありがとう。」(1年生)

「レクで遊んでくれてありがとう。」(2年生)

「いつも一緒にいてくれてありがとう。」(3年生)

「優しい言葉をかけてくれてありがとう。」(4年生)

「調子が悪い時に一番に声をかけてくれてありがとう。」(5年生)

「いつも話してくれてありがとう。毎日、学校に行くのが楽しみです。」(6年生)

こうした友達に向けたありがとうメッセージがたくさん届けられました。中には、違う学年のお友だちや先生、給食調理員さんにあてて「ありがとう」を伝えてくれた子もいました。



本校の子どもたちは、集会の発表の中であった「言われてうれしい言葉」として、「がんばれ」や「すごいね」とともに「ありがとう」という言葉を多くの子が選んでいました。「ありがとう」は本来「有ること」が「難しい」という意味を持っていて、滅多にないことや貴重であることを指す言葉とのこと。その後、貴重な出来事に対する感謝の言葉となり、現在は一般的なお礼の言葉として使われるようになったとも言われています。ふだん何気なく発している「ありがとう」かもしれませんが、ありがとうと言われるその行為が、本来は貴重な出来事なのだと考えると、「ありがとう」と言われることはより一層素敵なことに感じますね。

ちなみに、世界各地の「ありがとう」を調べてみると、英語は「サンキュー」。これはあなたを想っているという意味からの感謝の言葉。スペイン語での「グラシアス」は喜んでいることや相手に好意を持っていることを伝えるための感謝の言葉。ドイツ語の「ダンケ」は相手のことを考えたり想ったりする気持ちを伝える感謝の言葉。どの言葉も相手を大切に作る温かさが感じられます。本校の子どもたちが、言われてうれしい言葉として「ありがとう」を選んだのは、そうした人を大切に思う優しい思いを感じているからだろうと私はとらえています。

照れがあってなかなか言い出せないこともある「ありがとう」もあるかと思います。いつも一緒にいると、それが当たり前のように感じてしまって口に出さない「ありがとう」もあるのではないのでしょうか。しかし、やはり「ありがとう」は「言われてうれしい言葉」なのです。親しい間柄だからこそ、家族間だからこそ、この「ありがとう」を伝え合って、互いを大切に思う優しい心を育てていけたらと、このキャンペーンを身近に見ていて感じた次第です。